

私を励ました

聖書 言葉

一人ひとりを支え導いてくれた御言葉を綴っていただきました。

*The Word of God is
alive and active.
Hebrews 4:12*

わたしの目には、あなたは高価で尊い。
わたしはあなたを愛している。

イザヤ書 43章4節 (新改訳)

初等部教諭 小林 寛



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私が担任をしていたのは皆さんが1、2年生の頃でした。その記憶がつつい出て来るので、6年生での皆さんの活躍にいつも驚かされていました。徒競走での力強い走りやパフォーマンス、プロジェクトでの活躍、児童文集に載せられた作文。どれを見ても眩いほど力をつけています。

この先は精神面での成長が期待されるし実際そうなるでしょう。それは自分という存在を客観的に見つめ多角的に評価することに繋がるはずです。初等部では自己評価を大切な教育の柱として来ましたが、自分を正しく評価し受け入れることは難しいものです。

時に自分を過大評価して天狗になったり、逆に自分に厳しすぎて卑屈になってやる気を失うこともあります。他人の一言に

落ち込むこともあるでしょう。どれも健全な生活を送ることの妨げになるでしょう。そして、そのスパイラルに落ち込むと、そこから抜け出せず長引くこともあります。

でも、私は樂觀視しています。なぜなら皆さんはとても大切な存在として愛されて12年間を過ごして来ました。ご両親や家族はもちろん、友だちや私たち教員からも深く愛されています。そして、何よりもあなたたちは神の作品で、神から愛されている存在です。

あなたの価値は創造された主なる神がつけてくれます。あなたは高価で尊いと言い切ったこの言葉を心に刻んでください。

未知のステージに進むことに期待と多少の不安があっても、自分は神様から愛されている存在だと信じて進んでください。それが本当の自分に出会える唯一の道です。

だから、神の栄光のためにキリストが
あなたがたを受け入れてくださったように、
あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。

ローマの信徒への手紙 15章7節

中等部3年 片野 遥

すべてのことに感謝をして

3年間という長いようであつという間の中等部生活がもう終わりを告げます。私は中等部での3年間を経て、人との関わり方について考える機会が多くなりました。クラス、部活など様々な場面で人と関わります。そんな人間関係について考える機会が多くなった時、教会の礼拝で読まれたこの聖句に出会いました。友人と意見が衝突したり、すれ違いが起きたりする時もありました。それでもこの「キリストがあなた方を受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい」という言葉に目を覚ませられ、相手のことをどんな形でも受け入れてみるのが大事なのだと気づきました。

多種多様な個性や性格がある中で、すべての人を受け入れるというのは簡単ではないと思います。それでもこの言葉を胸に刻み覚えていきたいです。

また、聖書には神様のご計画により人との出会いが与えられるとあります。今思うと友人たちとの出会いはすべて神様のご計画通りだと感じ驚きます。中等部で出会った大切な友人たちとの出会いに感謝し、これからの新たな出会いが楽しみです。



求めなさい。そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書 7章7節 (新共同訳)

高等部3年 佐久間 裕子

私の聖書にはたくさんの数字のメモがあります。私は、毎日の礼拝の中で、読まれた聖書箇所とその日の日付を記録しています。これは、中等部に入学してすぐに先生が教えてくださったことで、高等部を卒業する今でも続けています。この高等部での3年間、多くの聖書箇所との新たな出会いがありました。そして、私の聖書に記録された日付も3年分増えました。ひとつひとつの数字が、その日の礼拝の内容を思い出させ、そして私を励ます大きな力となっています。中でもひとときわ数字のメモが多い箇所は「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見

つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイによる福音書7章7節)です。私の記録によると、中等部に入学してからの6年間で、20回以上読まれています。私もこの聖書箇所に何度も励まされ、また、多くの人の原動力となっているのだな、とこの聖書箇所のもつパワーを実感します。

新しい旅立ちの季節に多くの人に素敵な聖書の言葉との出会いがあることを願っています。





社会情報学部4年 富澤 佑人

自らの道を拓く

私が入学したての頃は、大学生活を送る中で達成したい目標を立てて日々の学生生活を送っていました。しかし、新型コロナウイルスにより全面オンライン授業に切り替わり、当時所属していた体育会の部活動も無期限休止となってしまいました。人と接することがなくなり、コロナ禍が続くにつれてモチベーションを維持することが難しくなり、将来の未来設計を諦めてしまったこともありました。

その結果、3年次に留年しました。とてもショックでした。周りに迷惑をかけることに対して自己嫌悪にも陥り、ばつの悪さに学校に通いたくないと本気で思いました。

そんな時に、ルカによる福音書にある「求めなさい。そうすれば、与えられる」から始まる御言葉を思い出しました。私が苦境に立たされた際には必ず思い返すこの御言葉は「自らが諦めなければ神様は見てくれている」という初心を思い出させてくれます。

現在は、周りの方々や御言葉に支えられながら卒業を迎えようとしています。これからの人生で心が折れそうになっても、神様を信じて自分だけの道を拓いていこうと思います。

求めなさい。そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば、見つかる。
叩きなさい。そうすれば、開かれる。
誰でも求める者は受け、
探す者は見つけ、叩く者には開かれる。
ルカによる福音書 11章9・10節抜粋